

学校だより

八幡小学校
令和6年12月

八幡の杜



12月2日朝会 人権週間のお話

「みんなちがっていい。80億の人権ピース。」

校長 大西 博

ちょっと難しい言葉をつかってのお話になります。

12月4日から10日までは、第76回「人権週間」です。

第76回ということは、76年前。その12月10日に、世界の国々の代表が集まる国連という会議の中で「世界人権宣言」が採択されました。国連はこれを記念して、12月10日を「人権デー」としています。

日本では、毎年12月4日から12月10日までの1週間を「人権週間」として、全国的な活動が行われます。

今日はその人権についてのお話をします。

このポスターを見てください。大きなポスターは、校内のどこかに掲示されていますから、また探してみてくださいね。

右の上にかけてある言葉は「みんなちがっていい。80億の人権ピース。」です。

今、この地球上には、おおよそ80億の人がいるといわれています。

その一人ひとりが持つ、人が人として生きていく権利。人権。何をやってもいいという、自由とはちがいますよ。

みなさん一人ひとり大切な人間です。それと同じように、みなさん以外の人も大切な人間です。

みなさん一人ひとは、今、腰を下ろして座っている、前・後・右・左の人と同じ人ではありませんね。ですから、80億の人権ピースは、80億、みんな違った形で、それでいいんです。違った形どうしが集まり、みんな、地球の上で生活をしています。

そしてこのポスターの下には、こう書かれています。

世界は異なる要素を持った一人ひとりで出来ている。
ふたつとないピースを組み合わせることで、未来はもっと素敵になるはず。
違いを認めあえば、未来はもっと素敵になる。



さて、人は誰でもそうですが、自分が基準・普通となります。その基準・普通は、その人の生まれた場所や環境、または過ごしてきた経験によって作られたものです。

例えば、食べ物の納豆、これをおいしいと感じる人もいれば、おいしくないと感じる人もいます。「おいしい」「おいしくない」と、お互いの感覚を押しつけ合っても、それは単なる味の感じ方・味覚の違いだけであって、意味のないことです。人には味覚以外にも、さまざまな感覚があります。「今日は寒いね」、「そう？そんなに寒くないよ」など、この感覚も人それぞれです。

しかし、あるとき人は、自分の感覚を「普通」という言葉に置き換えてしまうことがあります。例えば「それはおかしいよ、普通はこうだよ」という言葉をつかうことがあります。

この「普通」という言葉を少し考えてみましょう。さっきの味覚や、暑さ・寒さの感覚と同じように、ある人にとっては普通でも、別の人にとっては普通ではないことは、よくあることです。

でも時として人は、自分の普通、つまり、自分の基準をいろいろと当てはめようとします。自分の基準を他の人に押しつけていくことは、他の人の基準を認めないこととなります。お互いが自己主張だけを続けていけば、やがて対立が生まれ、時には争いやいじめにつながります。

これを避けるためには、お互いの基準を認め合うことです。これが「人権」という考え方です。人が長い歴史の中で、地球という星の上で、生物の生存競争によって、人が絶滅することなく、一緒に暮らしていくための方法として生み出した、知恵だといえます。

しかし、人権という考えはとても大切だけど、残念ながらとても難しいことでもあります。大人でも人権を知っていても、人と人との争いや戦争が今なお、起きています。先生がこうして話をしている今も、世界のどこかで、人と人との争いや、もっと大きな争いの戦争が起こり、爆弾で家がなくなったり食べ物がなくなったりしてもなお、そこで明日を迎えなければならなくなっている子どもたちがいます。みんなと同じくらいの子供もです。理解できなくても目の前にあるちがいを尊重するということが、人権について、学級でも家庭でも、話し合ってください。

以上で人権のお話を終わります。今週も元気にがんばりましょう。



各種表彰の紹介「おめでとうございます！」（敬称略）

第37回知多市ジュニアバドミントン大会					
小学5年以下男子シングルの部	優勝	勝位	恒川	遼太	・石田湧空
小学5年以下ダブルスの部	第2	位	恒川	遼太	
小学5年以下女子シングルの部	優勝	勝位	櫛田	怜愛	
	第2	位	櫛田	唯愛	
ブルグミュラーコンクール名古屋前期ファイナル					
小学1・2年A部門	銀賞		加藤	日那	
	銅賞		市原	芹香	

